

< 浜口雄幸(民政党) >



< 若槻礼次郎() >



<海軍軍縮条約(海軍軍備制限条約)>

ワシントン **主力艦**の
海軍軍縮条約(1922) **保有量制限**



ジュネーヴ **補助艦**の
軍縮会議(1927) **制限失敗**



ロンドン **補助艦**の
海軍軍縮条約(1930) **保有量制限**

<統帥権>

<統帥部>

参謀本部

(陸軍)

海軍軍令部

(海軍)

輔弼(補佐)

天皇

統帥権

軍隊を指揮・

統率する権限

陸海軍

< 統帥権干犯問題 >

天皇

編制権

陸軍省・海軍省

軍隊の兵力量・

給与などを担当

統帥権

参謀本部・海軍軍令部

戦争時の軍隊に対する

作戦・指揮などを担当



< 国家改造運動 >

天皇(国体)

< 国家権力 >

~~政党~~

~~(財閥)~~

~~官僚~~

軍部

天皇中心の軍部政権樹立

<張学良の易幟(国民政府合流)>



(北京政府
の国旗)



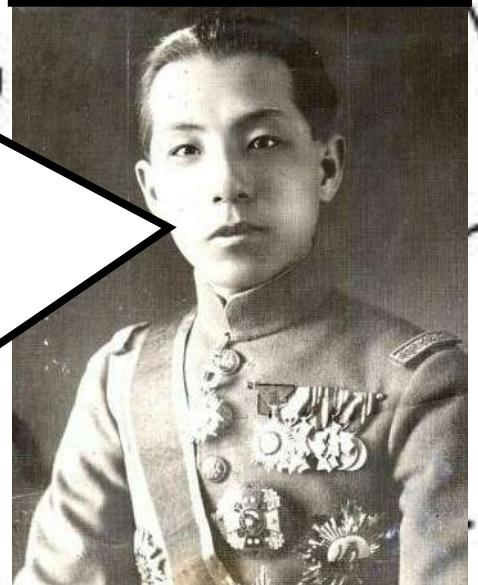
(国民政府
の国旗)

国民政府に合流…
てか服属するわ～

~~張作霖~~



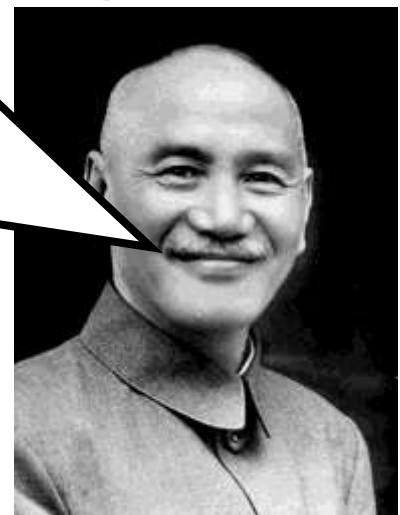
張学良



南京(国民政府)

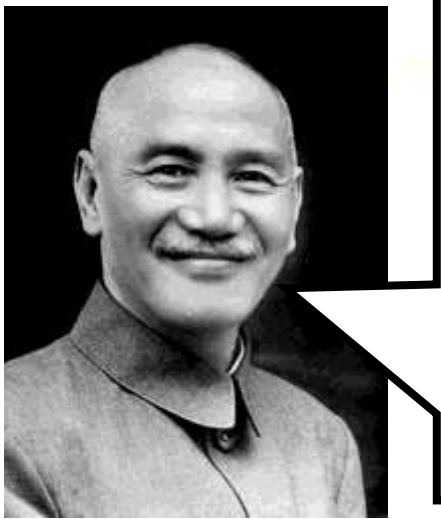
(蔣介石)

張学良の合流で
国民政府が中国
統一したアル！



< 国民政府の国権回復運動 >

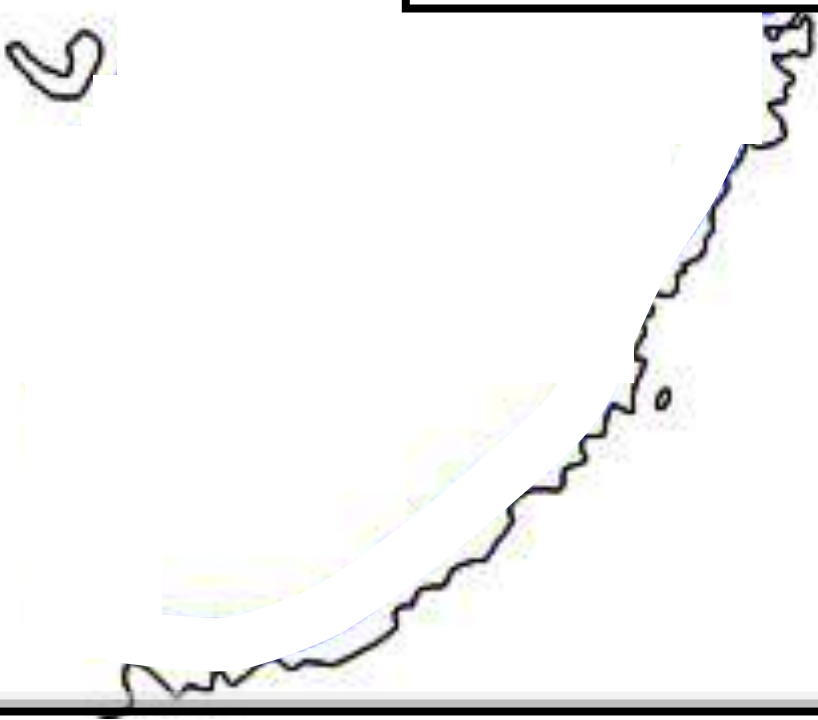
清王朝の頃に列強諸国に
奪われた税権・法権とか
租借地・特殊権益とかも



中華民国に返し
てほしいアルね
(国権回復運動)

(**蔣介石**)

南京(国民政府)

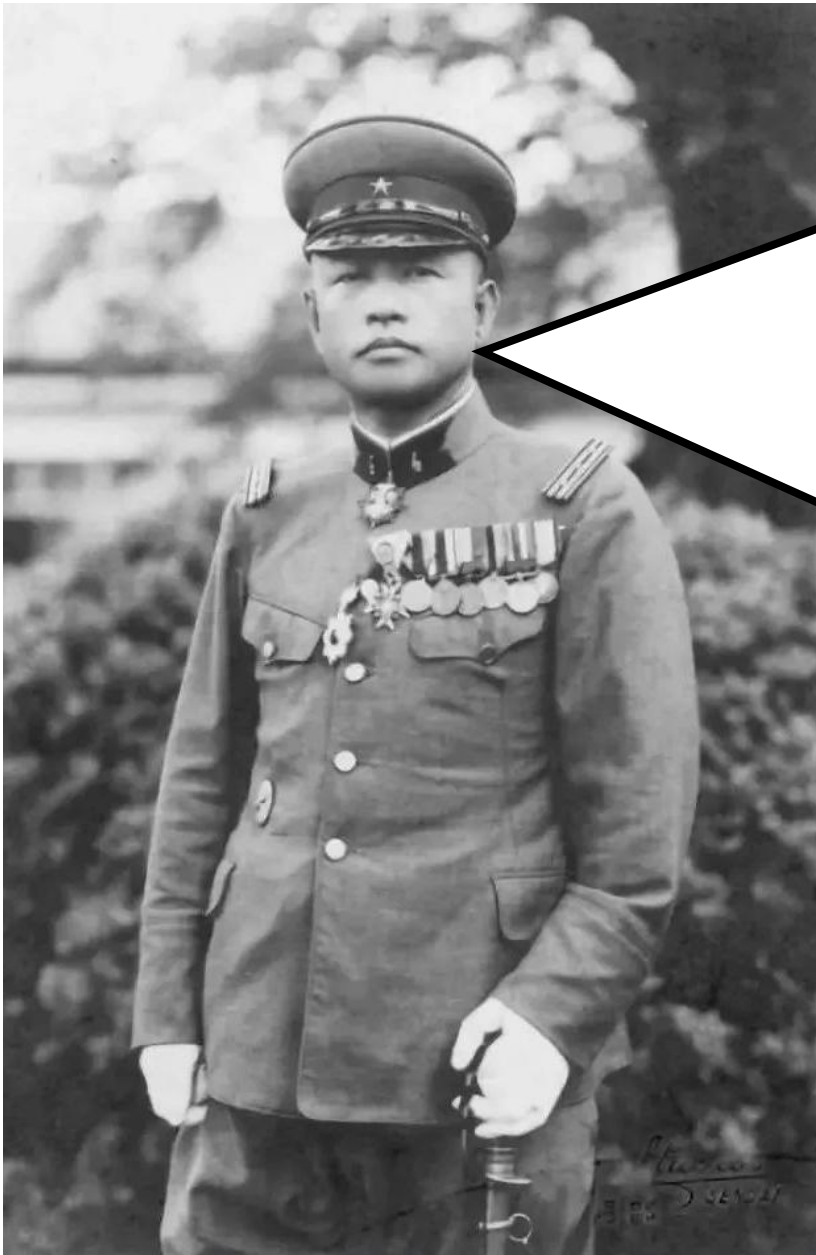


< 松岡洋右の満蒙生命線論 >



張学良(満州軍閥)が
中国国民党に合流し
て中国が統一された
→満鉄並行線計画・
日貨排斥運動により
日本の生命線である
満蒙の危機やで！

<石原莞爾(関東軍参謀)>



将来的なアメリカとの
世界最終戦争に勝つ
には石炭・鉄鉱石など
資源が豊富な満州は
我が国にとって必要
→自作自演でも構わ
ないから戦争や！

< 満州事変 >

ノ連

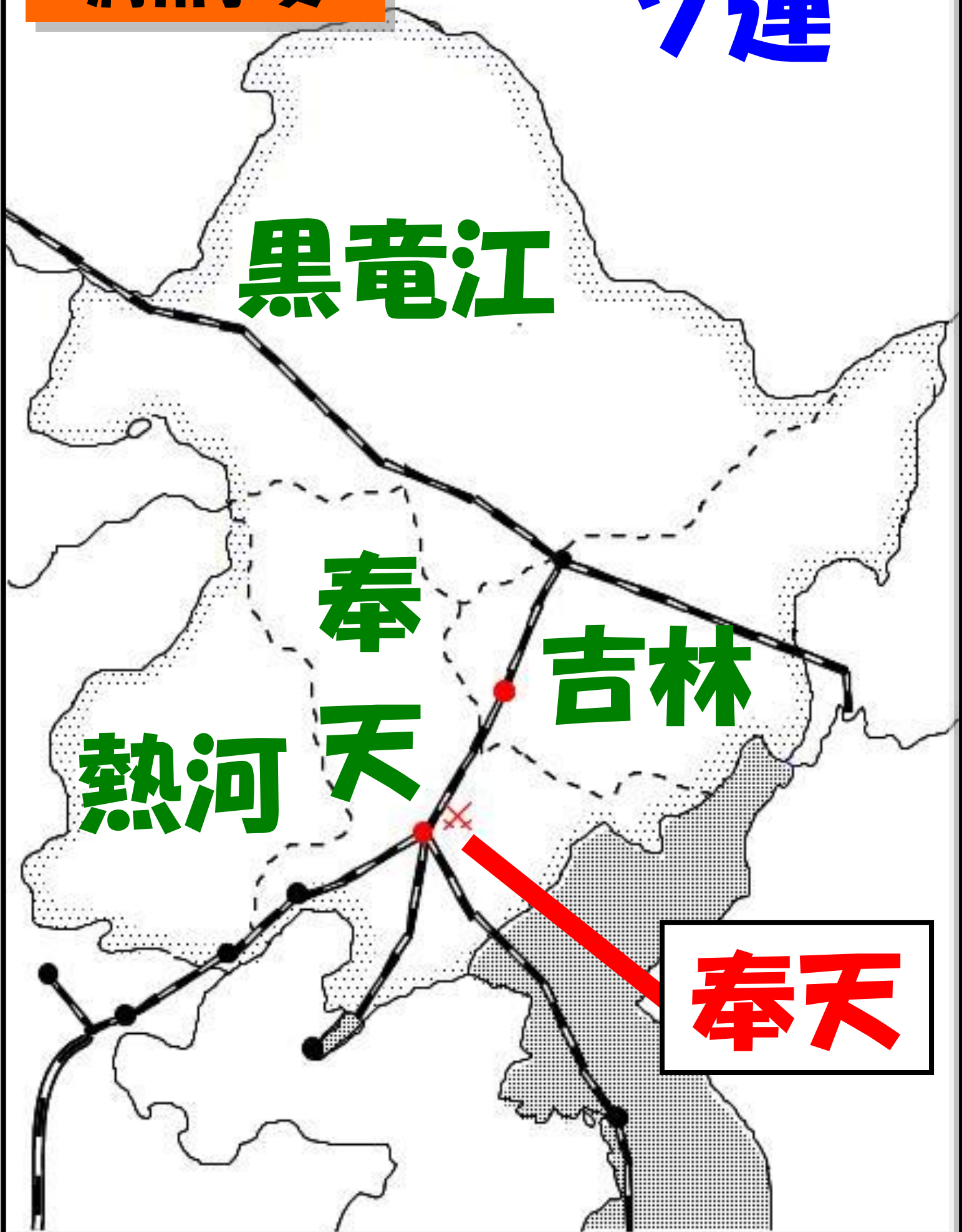
黒竜江

奉天

吉林

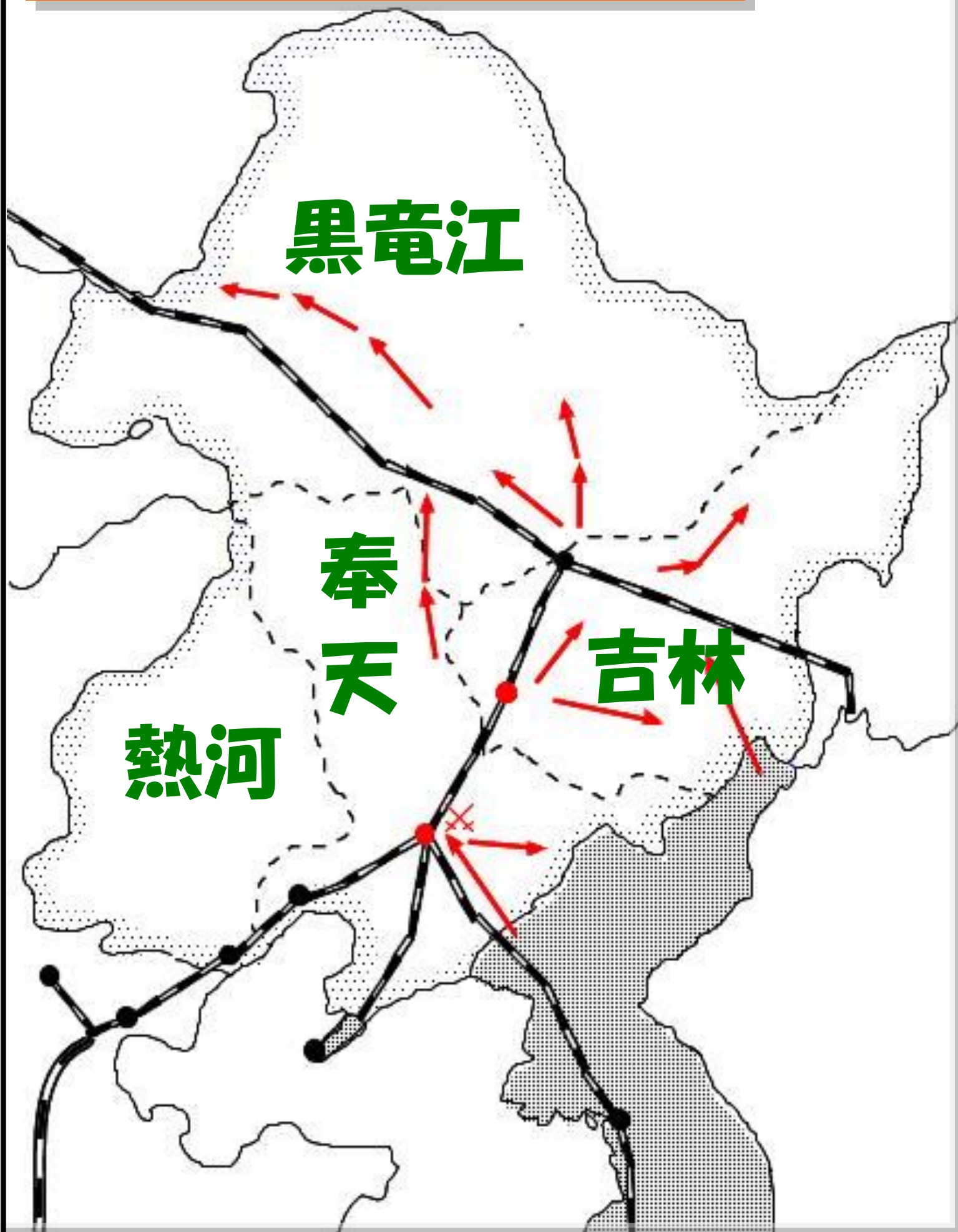
熱河

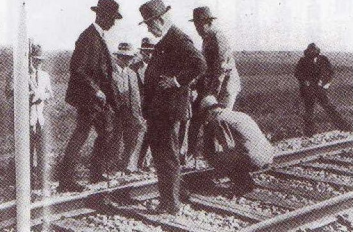
奉天





< 満州事変の日本軍進路 >





<第一次上海事変>

満州

北京

南京

国民政府

上海



< 満州国(奉天・吉林・黒竜江) >

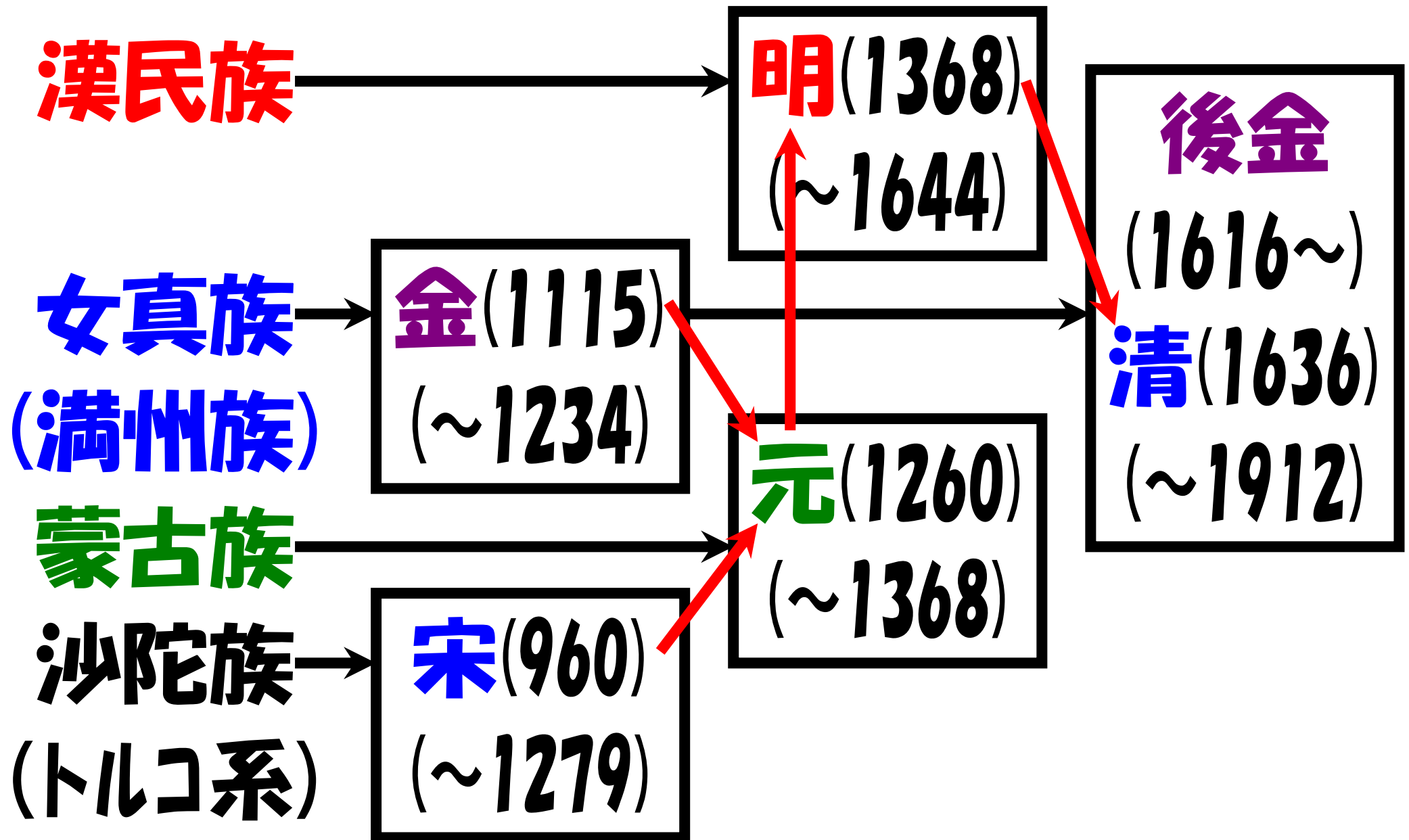
満州国

**新京
(長春)**

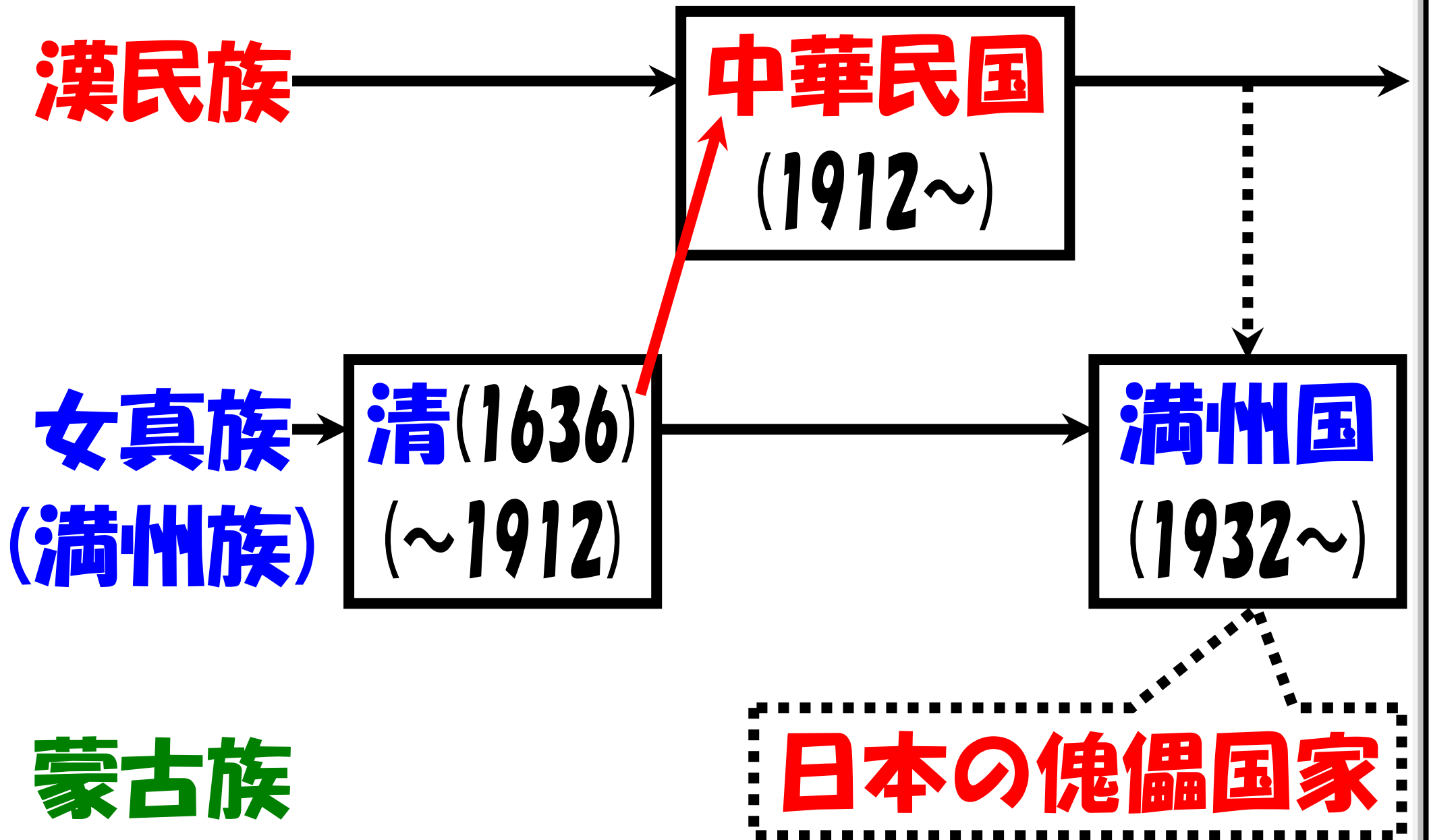




< 中国王朝の民族(中近世) >



< 中国王朝の民族(近現代) >

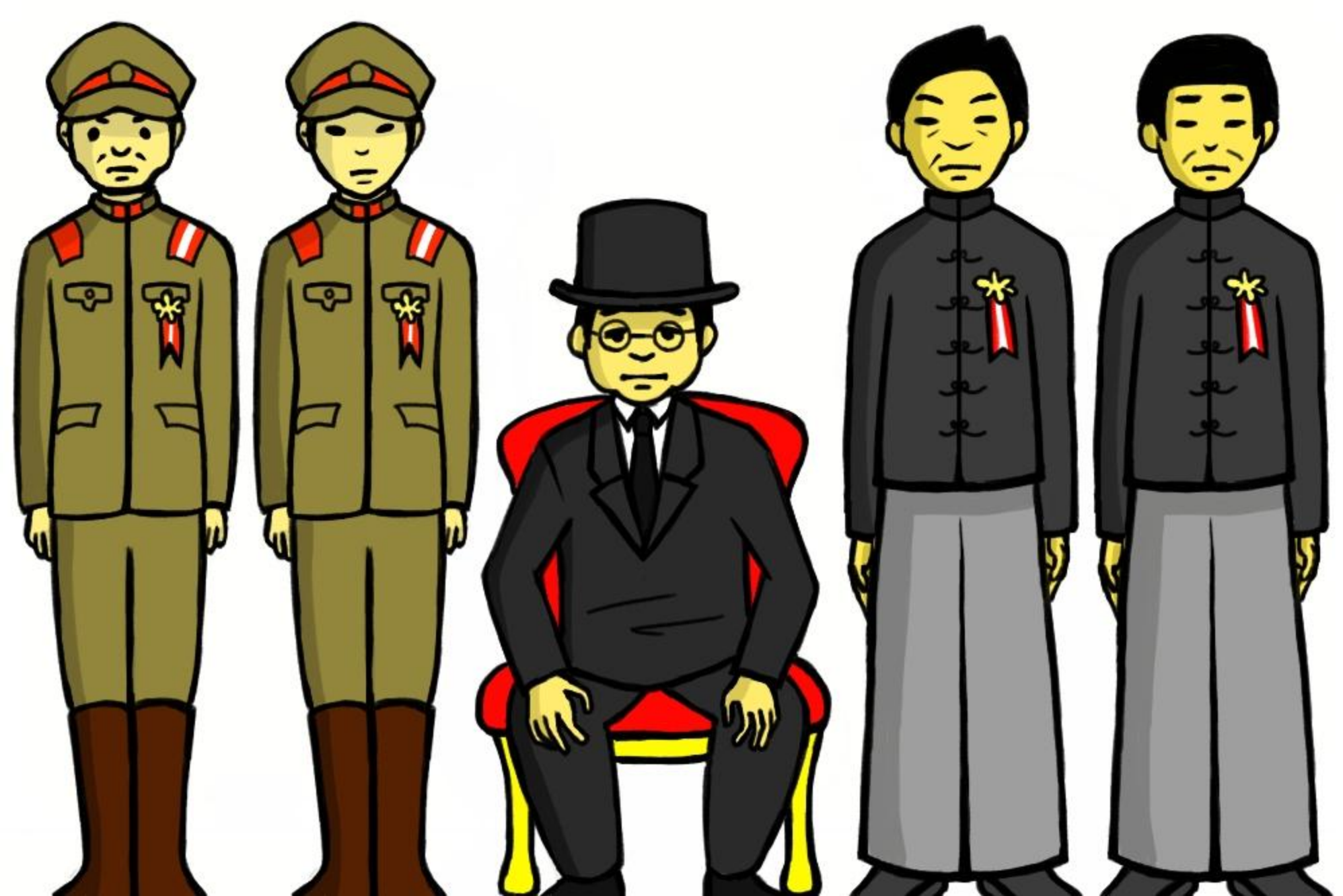


<宣統帝(清朝皇帝)>



<溥儀(満州国皇帝)>









< 犬養毅(政友会) >



< 齋藤実(海軍大将) >



< 齋藤実内閣の閣僚 >

立憲政友会...3 名

立憲民政党...2 名

軍 人.....2 名

貴族院.....3 名

官 僚.....1 名

挙国一致内閣
(中間内閣)

< 滿州国(3 省 + 興安 + 熱河省) >

滿州国

新京
(長春)

熱河



< 金本位制・銀本位制確立時の条件 >

- ① 発行する紙幣が正貨(金貨 or 銀貨)
と交換できる兌換紙幣である
＝国内で発行する紙幣流通量は
自国の正貨保有量とほぼ同じ
でなければならない
- ② 外国との貿易は正貨(金貨 or 銀貨)
で決済する(金貨を輸出 or 輸入)

<金本位制・銀本位制停止時の条件>

正貨と交換できない**不換紙幣**の場合

→正貨保有量に関係なく紙幣を発行
＝政府が紙幣流通量をコントロール

①紙幣流通量が多い場合

→物価高(インフレ)・紙幣価値Ⓣ

②紙幣流通量が少ない場合

→物価安(デフレ)・紙幣価値Ⓢ

<金輸出>



① **金輸出** = 金保有量の減少

→ 紙幣流通量の減少

② 物価の下落 → 輸出が増加

<金輸入>



① **金輸入** = 金保有量の増加

→ 紙幣流通量の増加

② 物価の上昇 → 輸出が減少

(1886年 銀本位制確立(金輸出・金輸入) = 兌換紙幣

1897年 金本位制確立(金輸出・金輸入) = 兌換紙幣

→ 為替相場は安定(固定)

↓○

→ 貨幣法(松方②内閣)で 1円金貨(金0.75g) ⇔ 1ドル金貨(金1.5g) → 1ドル = 2円 ^{円安}

1917年 金本位制停止(金輸出禁止) = 不換紙幣

→ 為替相場は不安定(変動)

↓×

→ 恐慌(1920.23.27)の際に不換紙幣増発 = 円の価値①(円安)

→ 1ドル = 2.6円前後 → 23円 → 2.15円

1930年 金本位制復帰(金(輸出)解禁) = 兌換紙幣

→ “ 安定

↓○

→ 貨幣法(1897)で定めらした 1円金貨(金0.75g)の旧平価で復帰

→ 1ドル = 2円 (100円 = 49.845ドル) ^{円高}

1931年 金本位制再停止(金輸出再禁止) = 不換紙幣

→ “ 不安定

↓×

→ 低為替政策で意図的に超円安へ誘導

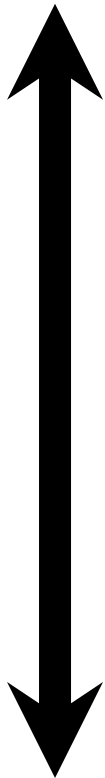
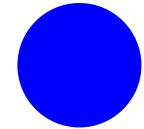
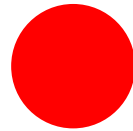
→ 1ドル = 5円 (100円 = 20ドル)へ

<井上財政の物価イメージ①>

物価高

日本

海外



物価安

<井上財政の物価イメージ②>

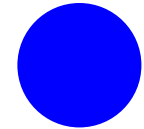
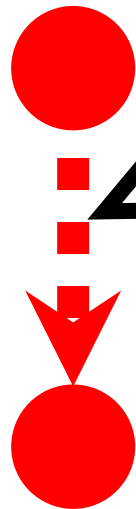
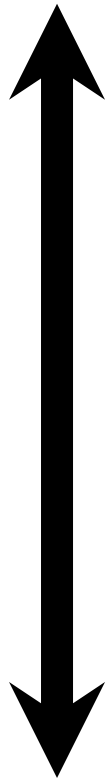
物価高

日本

海外

緊縮財政
産業合理化

物価安



<井上財政の物価イメージ③>

物価高

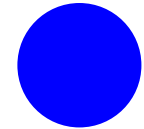
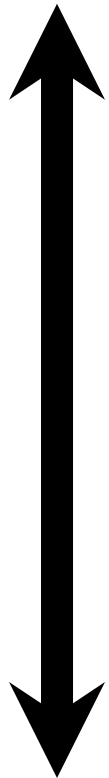
日本

海外

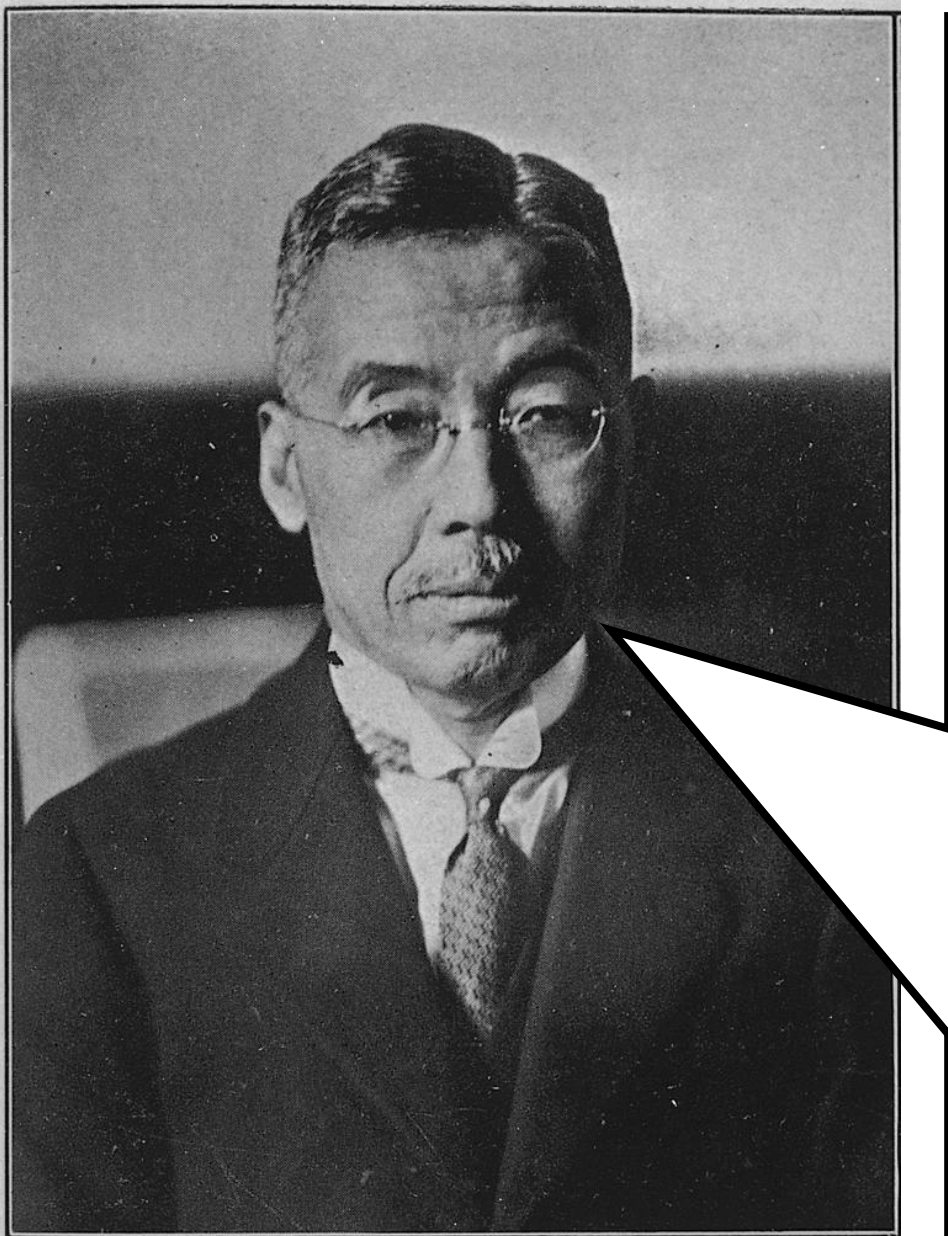
緊縮財政
産業合理化

金輸出解禁
(1930)

物価安



< 井上準之助(井上財政) >



デフレ政策を推進
するためには……

- ① 緊縮財政
- ② 産業合理化



金(輸出)解禁で
輸出促進やで！

<世界恐慌の物価イメージ>

物価高

日本

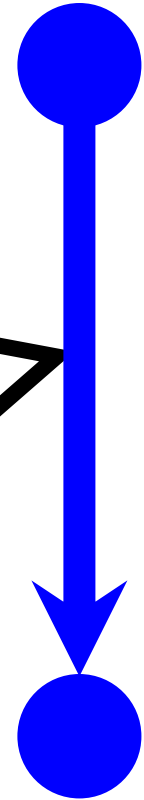
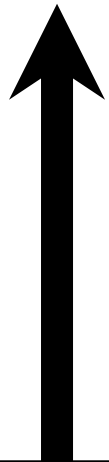
海外

金解禁…
(1930)

緊縮財政
産業合理化

世界恐慌
(1929~)

物価安





< 農業恐慌 >

1918 年 米騒動

→ 台湾・朝鮮からの米移入

1930 年 大豊作 — ↓

→ 米価が暴落 「豊作貧乏」

1931 年 大凶作 (東北大飢饉など)

+ 昭和恐慌の失業者が帰村

→ 欠食児童 ・ 女子の身売り





娘身賣の且場合
當相談所へ御出下る
伊佐澤村相談所

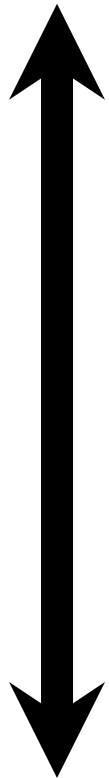
<重要産業統制法の物価イメージ>

物価高

日本

海外

物価安



世界恐慌
(1929~)

カルテル奨励
(1931~)



<カルテル・トラスト>

吉野家

松 屋

すき家

(498 円) (460 円) (450 円)



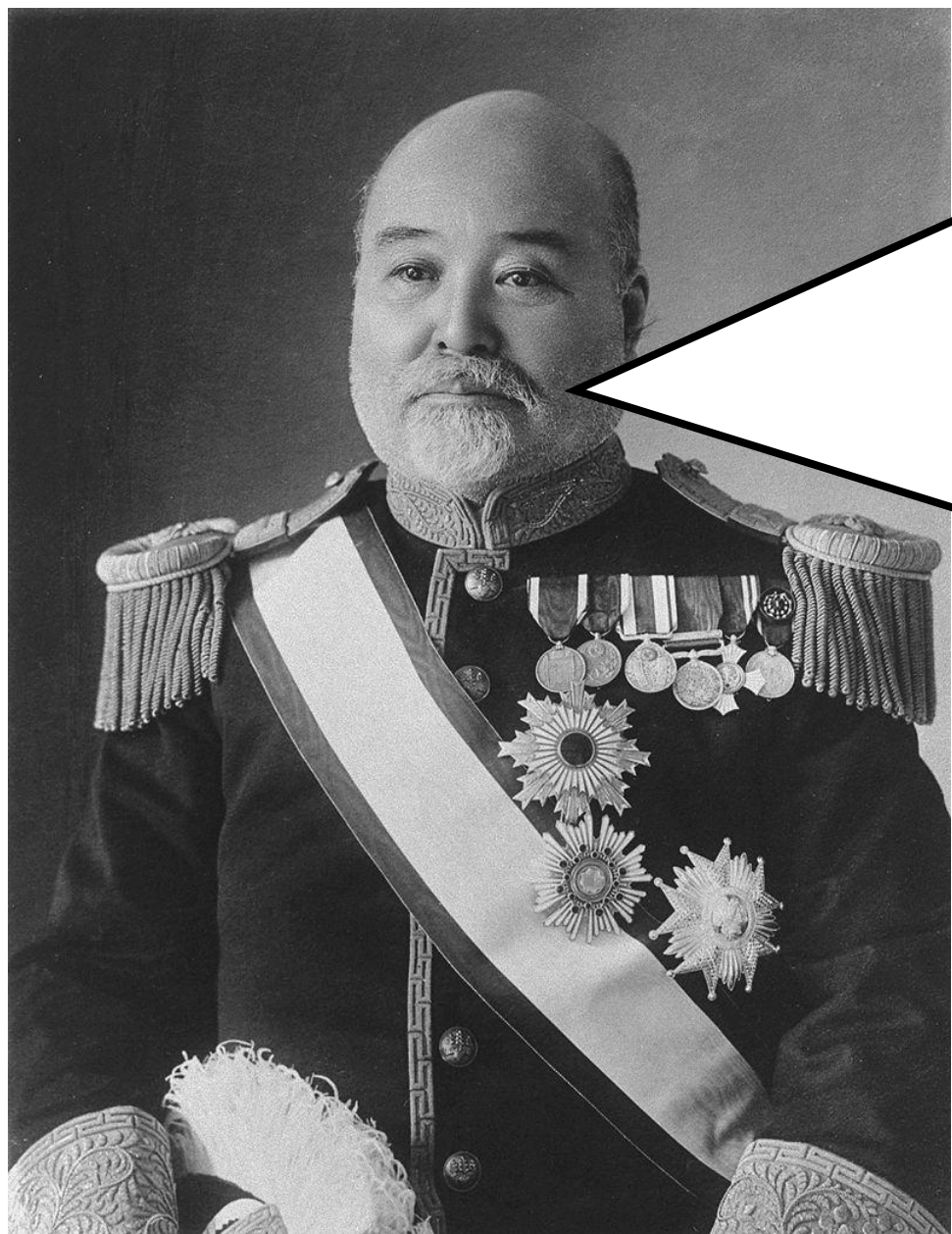
カルテル

(400 円)

トラスト

吉松すき家(350 円)

< 高橋是清(高橋財政) >



① **金輸出再禁止**で
金流出阻止やな！

② **低為替政策**で
超**円安**にすれば…



物価安 + 円安で
輸出伸ばせばええ